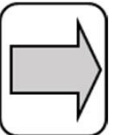


管内經濟情勢報告



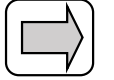

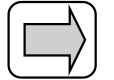




令和 8 年 4 月
財務省 四国財務局

四国財務局管内経済情勢報告

	令和8年1月判断	令和8年4月判断	総括判断の要点	1月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	<p>個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっていることから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械、化学が持ち直しつつあるものの、非鉄金属が弱含んでいることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。</p>	 (6期連続据え置き)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

項目	令和8年1月判断	令和8年4月判断	1月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	一進一退の状況にある	
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	

※ 8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

(6期連続据え置き)

○スーパーは、総菜等の飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。

○コンビニエンスストアは、飲料やファーストフードに動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

«スーパー»

○中食需要の高まりから、弁当・揚げ物・寿司が売上げを伸ばしている。

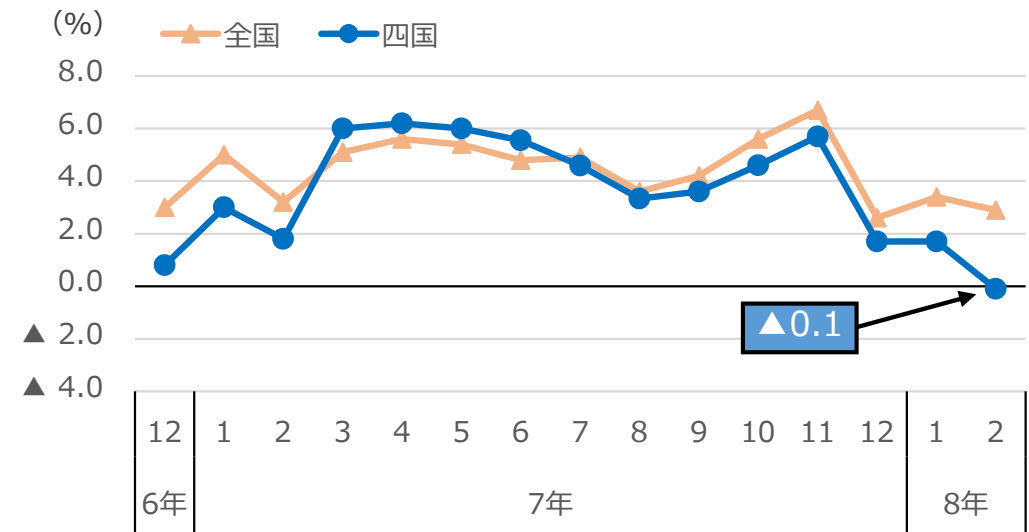
○キャベツなどの冬野菜は、単価が前年は高騰していたが今年は下がったことにより、売上げが落ち込んだ。

«コンビニエンスストア»

○気温の高い日が多かったことにより、飲料の売行きがよい。

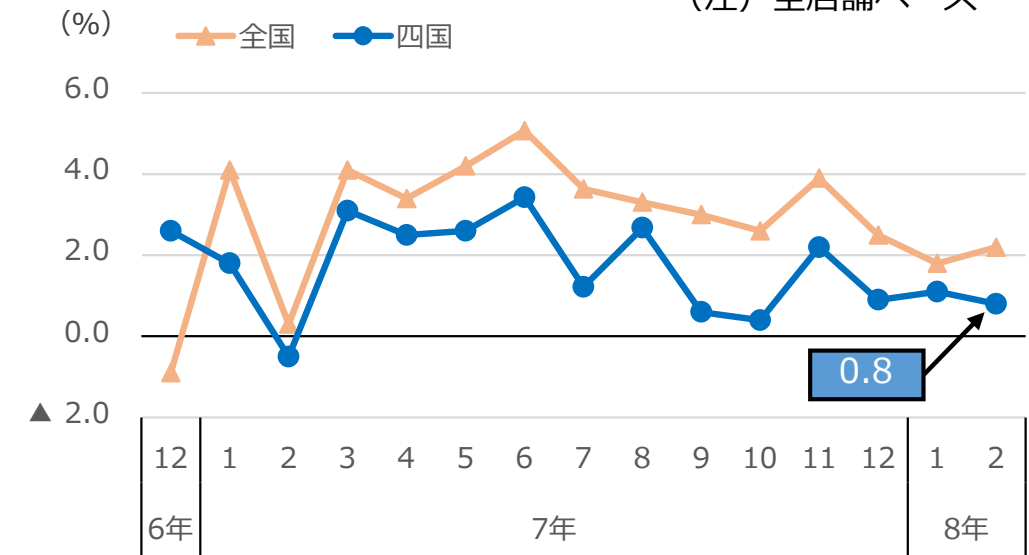
○価格の上昇や販売促進の効果により、ファーストフードの売上げが好調。

〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



〔出所〕 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、パソコン等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- ホームセンターは、季節商品の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。

〔主なヒアリング結果〕

《ドラッグストア》

- 価格の高騰により、インスタントコーヒーや鶏卵の売上げが伸びている。
- 商品価格の上昇から買い控えがみられるものの、新規出店効果により、売上高は前年を上回っている。

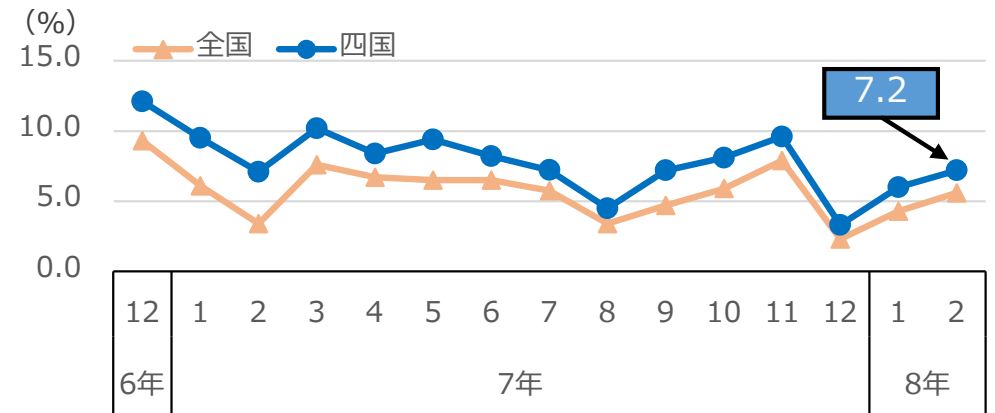
《家電大型専門店》

- パソコンは、一部OSのサポート終了や、メモリのさらなる価格高騰の見通しによる買替需要が高まり、売行きが好調。
- 気温の高い日が多かったことにより、電気ストーブや加湿器などの季節家電の動きが鈍かった。

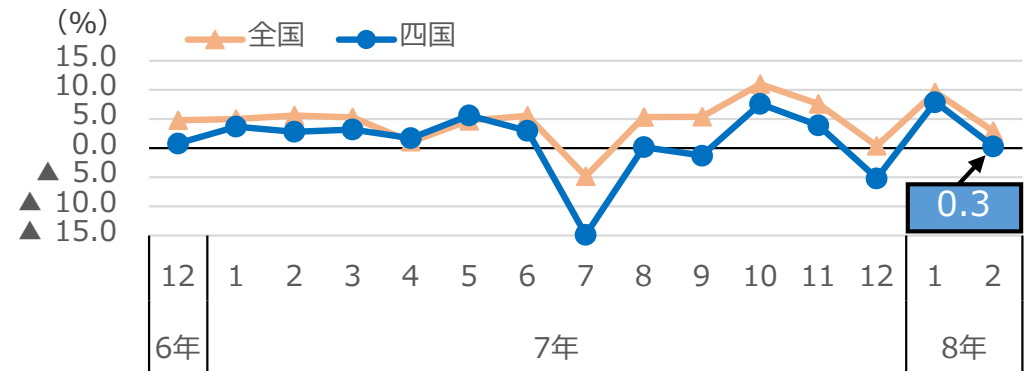
《ホームセンター》

- 気温の高い日が多かったことにより、カイロや暖房用品の売上げが減少している。

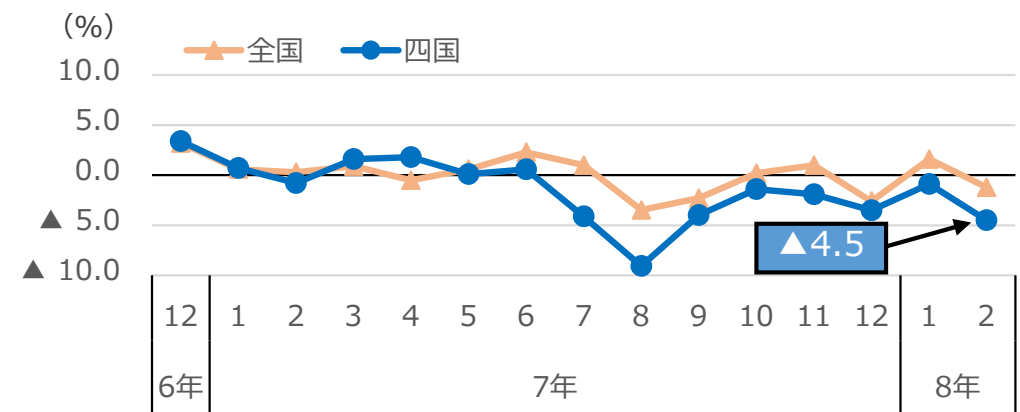
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



個人消費

- 百貨店は、飲食料品や高額品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車及び軽乗用車は前年を上回っているものの、普通車は前年を下回っていることから、全体としては前年を下回っている。
- 観光は、外国人観光客が増加していることなどから、緩やかに回復している。
- 旅行は、国内旅行、海外旅行ともに、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

《百貨店》

○催事により総菜や菓子の売上げが好調であり、中でも期間限定販売の菓子が人気を集めている。

○高級時計は、入荷するとすぐに売り切れる状況が続いており、売上げが好調。

《乗用車》

○販売価格の上昇により、消費者の買換えを控える動きがみられる。

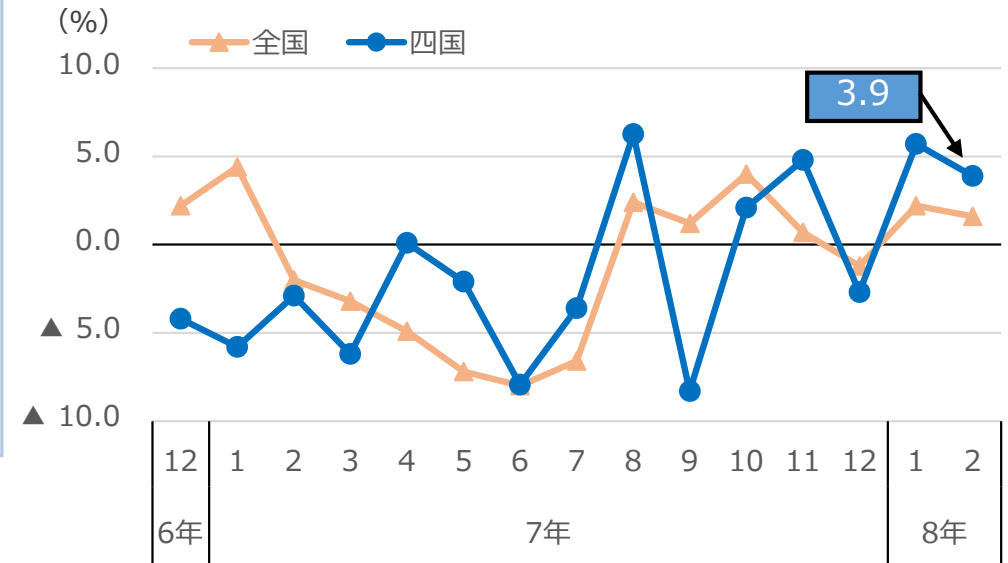
《観光》

○国際線の増便により、台湾と韓国からの観光客が増加している。

《旅行》

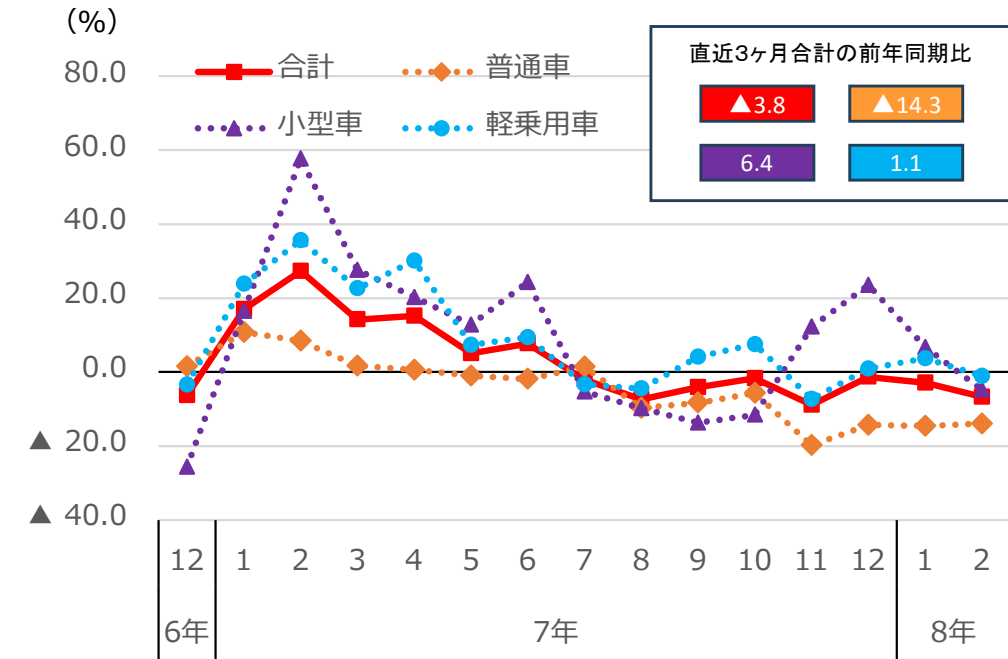
○物価高による旅行控えもみられるなか、大型テーマパークを組み込んだツアーのほか、チャーター便やクルーズ船を貸し切ったツアーが人気を集めた。

〔百貨店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔出所〕 経済産業省、四国経済産業局

〔四国の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



〔出所〕（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出 4

生産活動

生産活動

一進一退の状況にある

(11期ぶり上方修正)

- 汎用・生産用機械は、国内外の堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。
- 化学は、国内外の堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。
- 食料品は、一部に弱さがみられることから、横ばいの状況にある。
- 非鉄金属は、原材料不足などから、弱含んでいる。

〔主なヒアリング結果〕

「汎用・生産用機械」

- 国内外の設備向けや装置向け需要が堅調なことから、生産状況は好調。

「化学」

- 安定した需要を背景に、前期の設備更新などによる減産の反動もあり、生産量は増加。

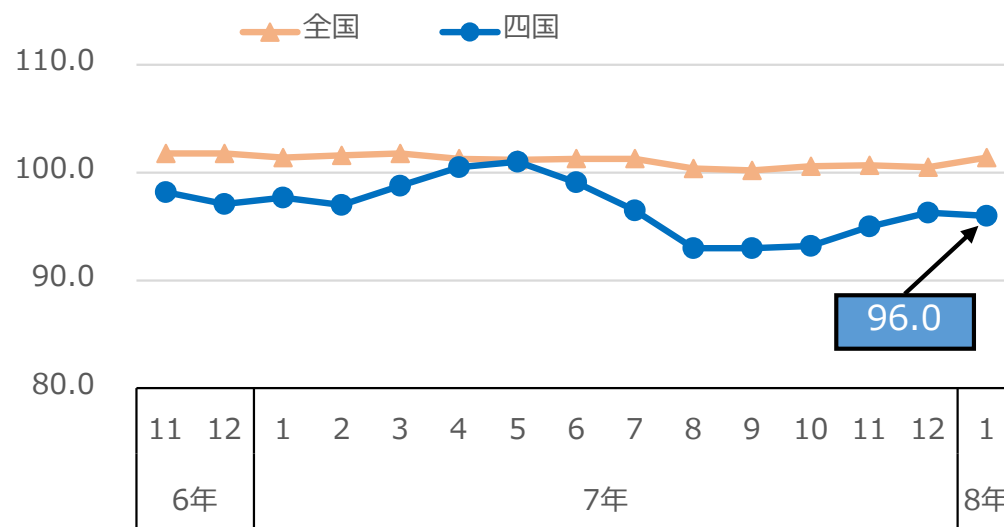
「食料品」

- 人手不足の外食産業向け受託製造が堅調で、取引先・量ともに増加している。

「非鉄金属」

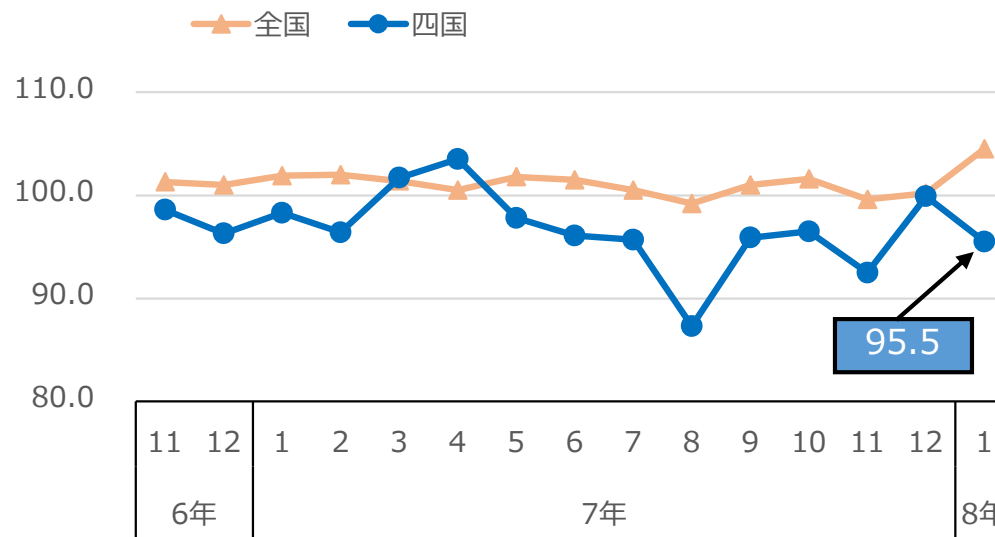
- 電気金は、原材料品質の関係から生産量減少が継続。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(令和2年 = 100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

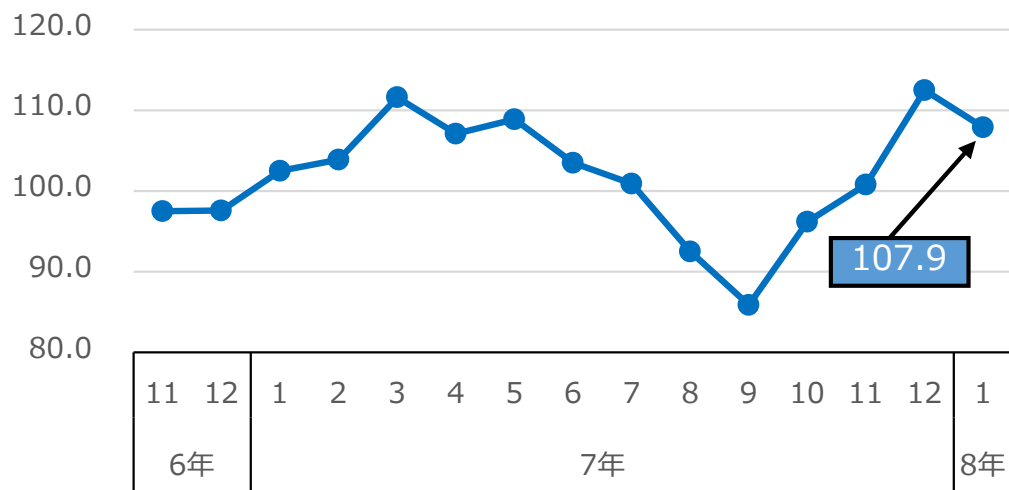
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



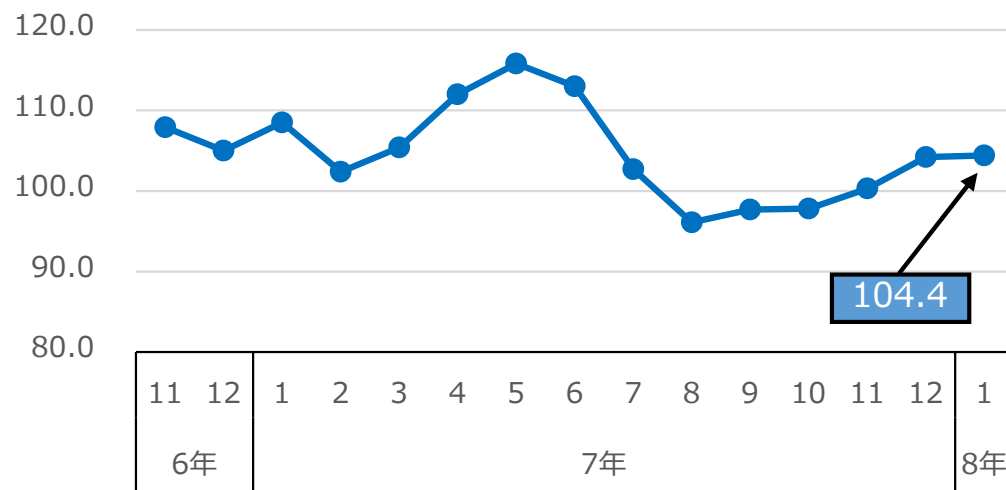
(令和2年 = 100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局

生産活動

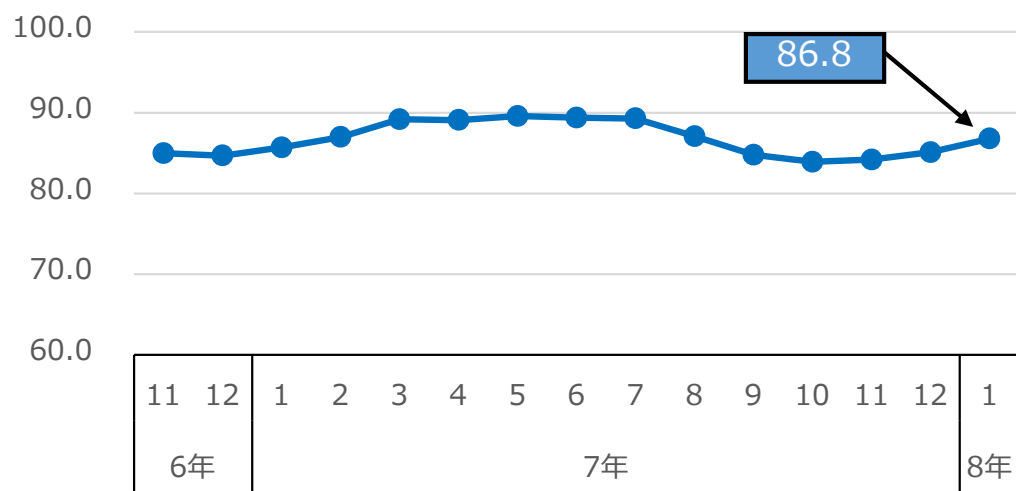
〔汎用・生産用機械〕



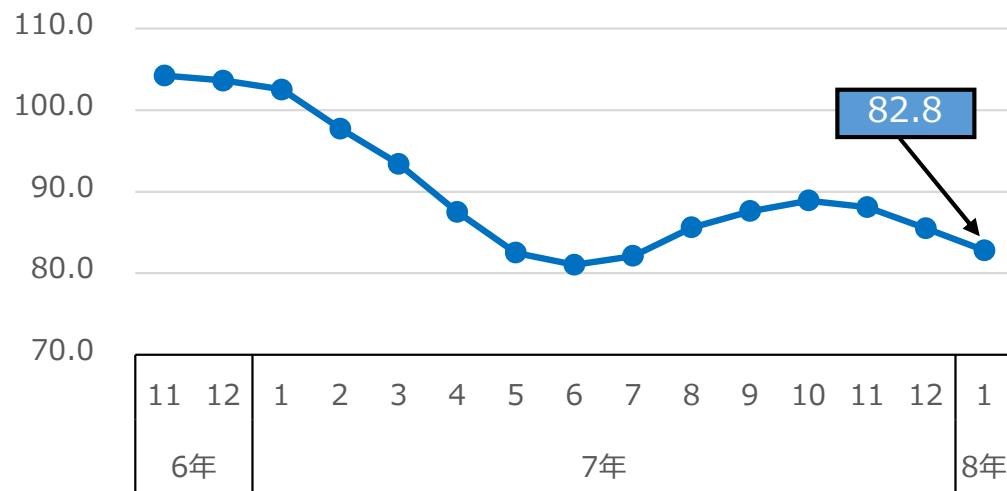
〔化学・石油石炭〕



〔食料品〕



〔非鉄金属〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100) 【出所】四国経済産業局の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

持ち直しの動きに一服感がみられる

(据え置き)

- 有効求人倍率は横ばいとなっている。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、3月末は全産業で33.2%ポイントと「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は続いている。

〔主なヒアリング結果〕

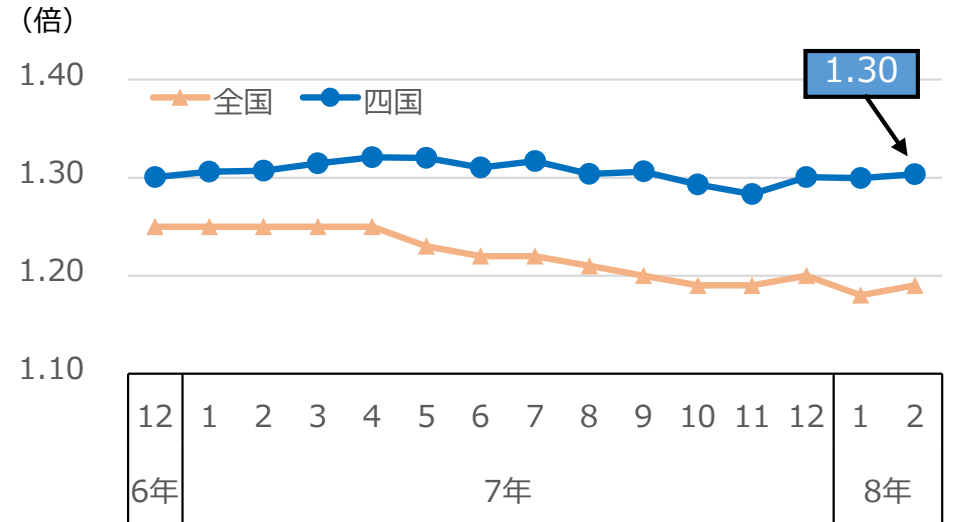
「労働局」

- 物価高による生活防衛のため、中高年層を中心に、より良い条件を求めて求職活動が長期化する動きがみられている。
- 人員の充足や求人の見直し等が影響し、新規求人数は減少したが、企業の人手不足感は依然として緩和されていない。
- 外国人材の活用が広く浸透しつつある中、業種や事業規模を問わず外国人材の雇用を検討・希望する事業者の声が増えている。

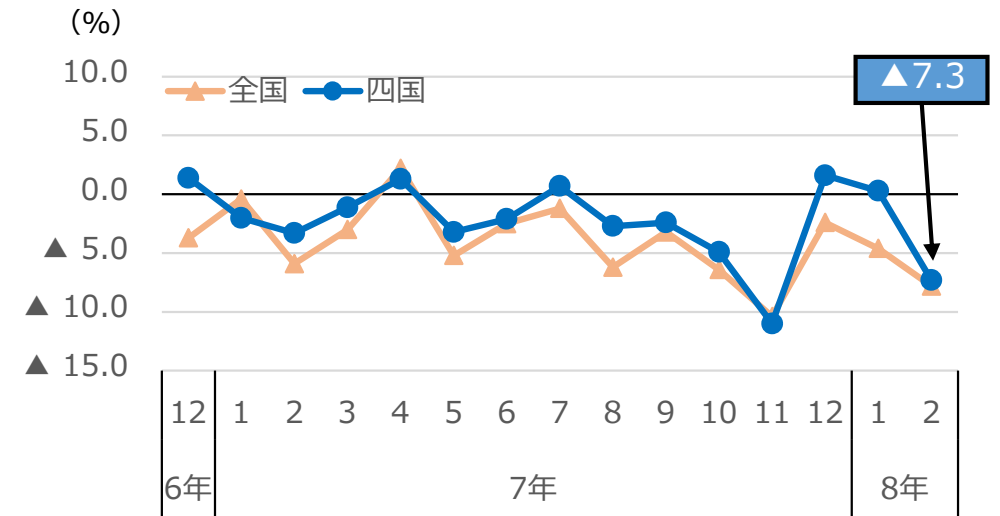
「化学」

- 応募者と求める人材とのミスマッチが多く、人手確保は難航している。また民間求人サービスの利用は有効と考えるものの支払報酬等の負担感が大きい。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出

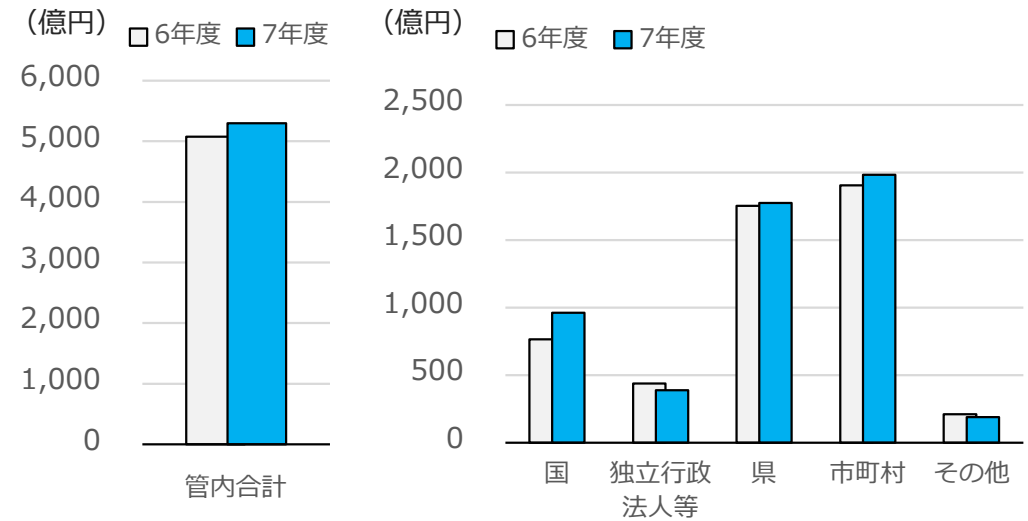
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、独立行政法人等は前年度を下回っているものの、国、県及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔四国の公共工事前払金保証請負金額（2月累計額）〕



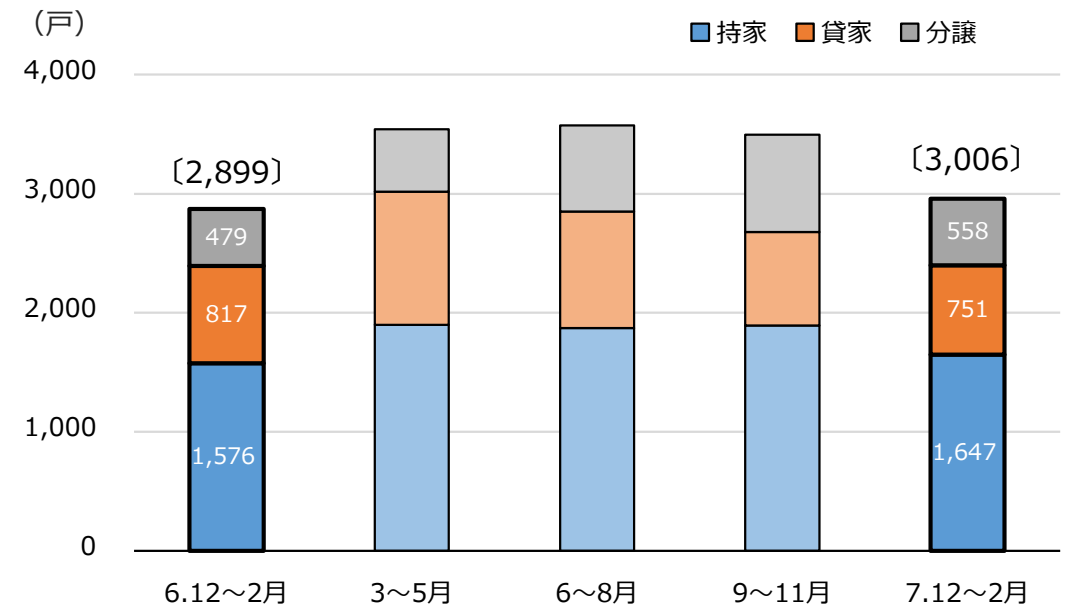
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を上回っている

○新設住宅着工戸数でみると、貸家においては前年を下回っているものの、持家及び分譲においては前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

〔四国の新設住宅着工戸数〕



※〔 〕は合計（給与住宅を含む） 【出所】国土交通省の公表データから算出

〔主なヒアリング結果〕

- 住宅価格が当分下がることは無いと考えて購入する動きもみられた。
- 分譲住宅は注文住宅と比較して安価で購入が可能な点や、購入から入居までの期間が短い点により、人気は底堅い。

設備投資・企業収益・企業の景況感

設備投資

7年度は前年度を上回る見込み

○7年度の「設備投資」は、製造業で前年度を下回る見込みとなっているものの、非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としては前年度を上回る見込みとなっている。

企業収益

7年度は減益見込み

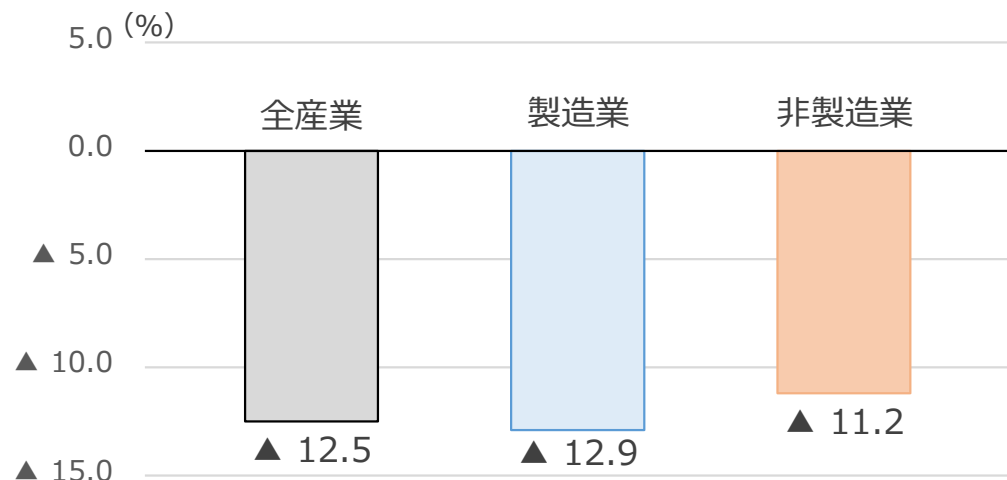
○7年度の「経常利益」は、製造業及び非製造業で減益見込みとなっており、全体としても減益見込みとなっている。

企業の景況感

「下降」超

○8年1～3月期は、製造業及び非製造業で「下降」超となっており、全体としても「下降」超となっている。

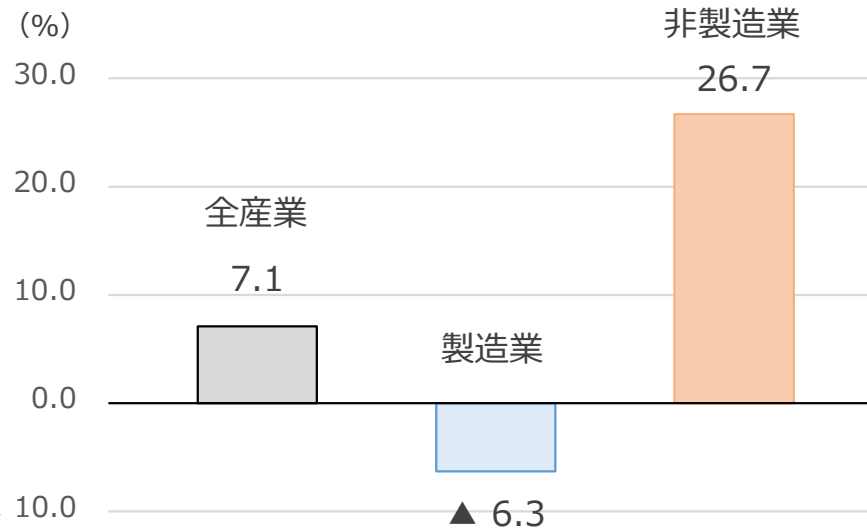
〔経常利益（四国、前年度比）〕



※ 8年1～3月期調査の結果

※ 「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本店が所在する企業

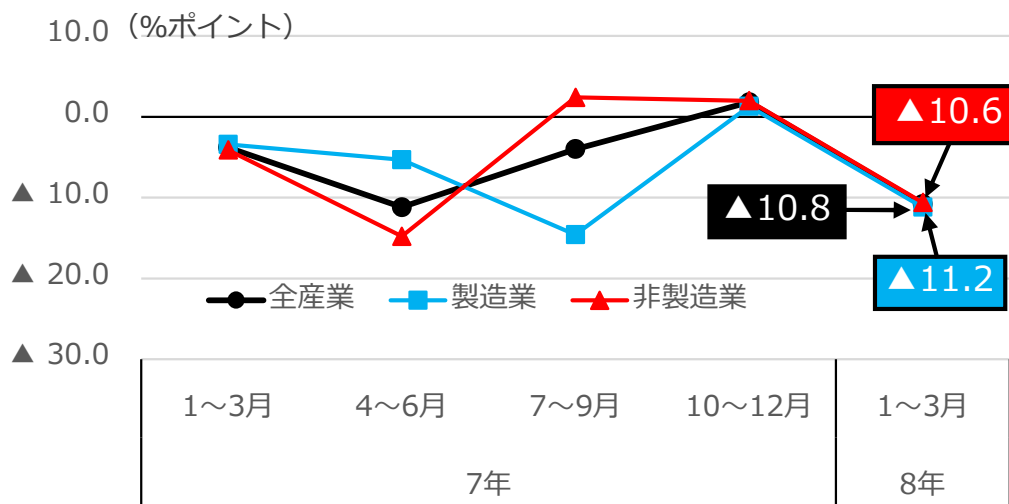
〔設備投資（四国、前年度比）〕



※8年1～3月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

〔企業の景況判断BSI（四国）〕



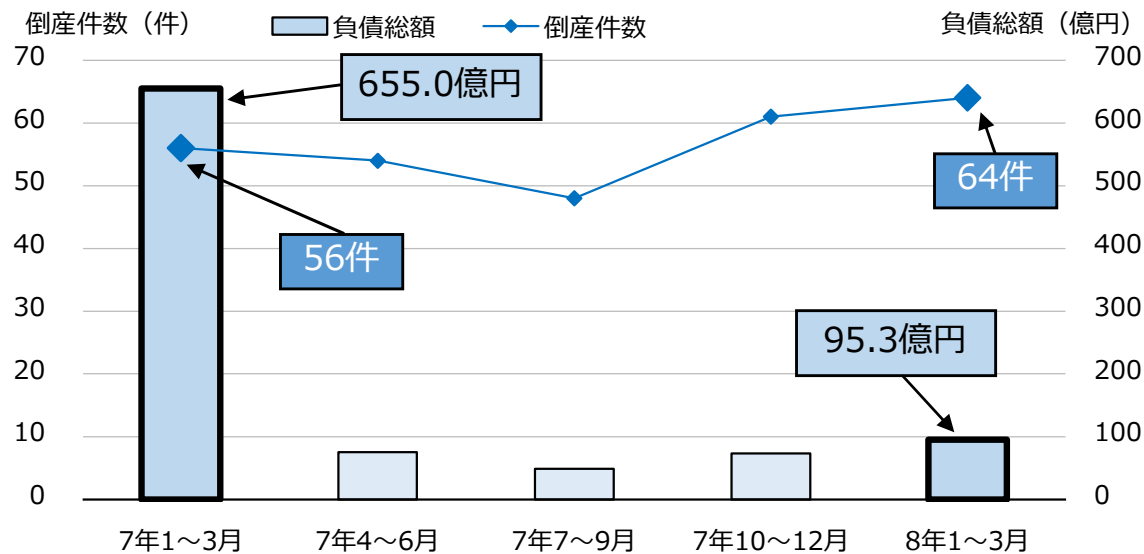
〔出所〕四国財務局（法人企業景気予測調査）

企業倒産・消費者物価（参考）

企業倒産

件数は前年を上回っているものの、負債総額は前年を下回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕

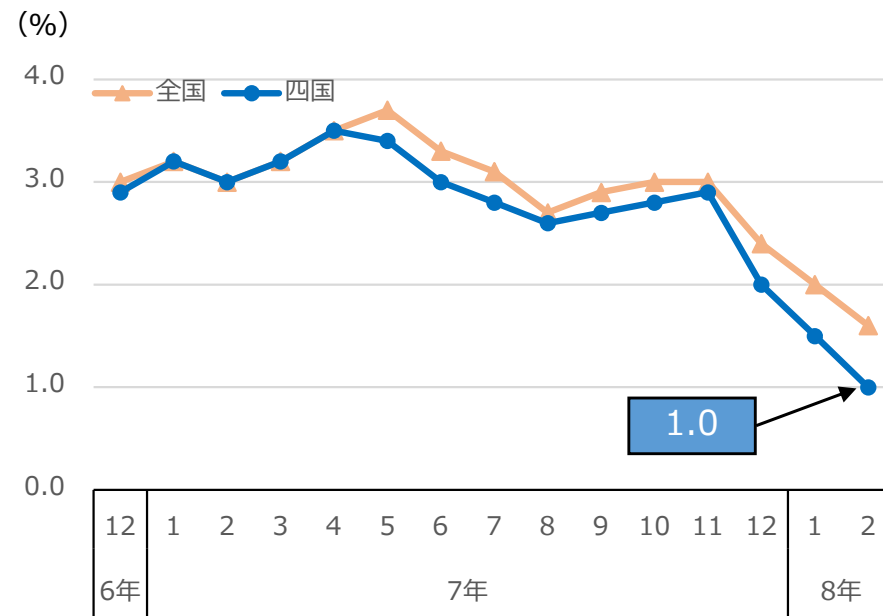


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

消費者物価

前年を上回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>